

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 。 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 6 月 15 日
事業所名	グループホーム 稲武の家
事業所番号	2376200172
記入者名	職名 管理者 氏名 鈴木 利美 (1号館リーダー) 福田 正子
連絡先電話番号	0565 - 83 - 3100

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当ホームの理念は玄関の見やすいところに掲げている。	もう一度初心に戻り、職員一人ひとりが理念を認識出来る様にしたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に理念を頭に入れ、職員一人ひとりが理念に基づき利用者さんに接している。	ミーティングや申し送りのときなど必ず理念について触れ確認しあうようにしたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族、ボランティアの方々の訪問時等に分かりやすく玄関に掲示してある。	ご家族との会話の中でも、理念について触れていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩などに出掛け、近隣の人と挨拶を交わしたり、通りかかった人に立ち寄って頂くよう声かけしている。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りや、お雛様の見学等参加している。	保育園や小学校の行事に参加したり、交流がもてたりしたらもっと広がると思われる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域高齢者の暮らしに役立つことについて取り組みはまだしていない。		これから少しずつ、出来る範囲で情報を得ながら取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果はミーティング等で伝えサービスの向上、改善に向けての具体的案の検討や実施に努めている。		職員一人ひとりが評価の内容をよく把握する必要があると思われる。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームからの実際の報告と共に参加委員から要望や意見、地域の実情等を交換しサービスの向上に活かす努力をしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは常に情報交換が出来ている。また、支援してもらえよう働きかけをしている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会等実施していないのでなかなか理解が難しい。		個々に勉強したり、必要であれば勉強会や研修に参加できれば良いと思う。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待の事実はない。		虐待については、あってはならない事。高齢者、及び認知症への理解、尊厳をもって接することなど、職員教育を行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書は時間をかけて読み上げ、分からない事はそのつど質問をして頂き、全てに納得して頂き契約書を結んでいる。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者さんの言葉には常に耳を傾け、職員間で話し合い改善するよう努力している。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族が面会に見えた際には最近の状況を説明し、必要であれば今後のケアの方針について同意を得てる。緊急を要する場合は、電話対応を実施している。</p>		<p>職員の移動など管理者の移動のみは報告しているが、その他の職員については特に行っていないので行えばよりよいと思われる。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>来訪時には何でも言ってもらえるような雰囲気作り心がけ、意見等に対しては誠意を持って対応し改善するよう努力している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回、各号館ごとでミーティングを設けている日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ問いかけたり聞き出したりしている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>柔軟に職員の配置、勤務が出来る様努力している。</p>		<p>職員数が少ないため、どうしても無理な勤務状況になってしまう場合もある。職員増加が望ましい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの職員を何人か残しつつ、少しずつ職員の移動も実施している。利用者へのダメージを防ぐ配慮は十分にされていると思われる。</p>		
5.人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホームの運営規定に職員採用時からの研修計画が記されており採用時研修、実践者研修、管理者研修、院内学会など継続的な研修が行われている。職員の自発的な研修も受けいられている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は自主的に他の施設、病院等を訪問したり、電話の交流を行っている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員旅行や忘年会等が実施されているが、参加できる職員は少ないように感じられる。もう少しストレス解消の場があると良いと感じられる。</p>		<p>職員に対して管理者やリーダーによる定期的な面談も有効であると思う。現在行われている月1回のミーティングでも話せる場が設けられている。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>実績が認められると段階的に昇格ができ、資格者には手当てが支給されるので向上心を持って働ける。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
あ				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	事前面談で生活状態を把握するようにし、ご本人の求めていることや不安な事を理解しようと工夫している。本人の思いに向き合い職員が本人に受けいられる様な関係作りに努めている。		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	これまでのご家族の苦労らこれまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。ご家族様が求めているものを理解し、どのような対応ができるのか、事前に話し合いをしている。		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人や家族の思い、状況を確認し改善に向けた支援の提案や相談を繰り返しながら信頼関係を築き必要なサービスに繋げるようにしている。		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	ご本人やご家族にホームを見学して頂きスタッフや利用者の方と談話し、雰囲気をもて頂き安心感を持ってもらい、生活内容を詳しく収集し様子を見ながらご家族様と相談し最善な援助を工夫している。		
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	本人の思いや、苦しみ、不安、喜び等を知ることにより努め共に支えあう関係作りに努力している。本人、職員お互いが協働しながら穏やかな生活が出来る様に場面作りや声かけをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子や職員の思いを細かく伝え家族との信頼関係が築けるよう努力している。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人や家族の思いや状況を見ながら外出や外泊で一緒に過ごすことを進めたり行事に家族を誘ったりしてより良い関係の継続に努めている。		家族によっては、遠方であったり仕事の都合でなかなか来れないのでそういった家族の方にも、もう少し理解して頂ける声かけが必要かと思われる。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	支援に努めている。		職員一人ひとりがもう少し利用者の馴染みの人など把握できていると良い。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士でトラブルが起こりそうなときは職員が間に入り解決できるよう配慮している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された利用者さんに対してはサービスの提供はしていない。相談等があれば対応出来るようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
１．一人ひとりの把握				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	本人の気持ちや意思を大切に受け止めて安心して楽しく生活出来る様検討している。		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入居時には本人や家族から話を聞きこれまでの暮らしの把握に努めている。カルテにも記入して有り職員一人ひとりが確認している。		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	利用者一人ひとりの状態を把握した上で残存機能を活用、引き出すサービスの提供をしている。		
２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入居者や家族の意見を聞き相談をしながら介護計画を作成し同意を得ている。		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	それぞれ３ヶ月ごとにモニタリングを行いカンファレンスで介護計画の見直しや検討を行っている。入居者の急な変化が生じた場合も計画の見直しを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	介護記録には、毎日の食事摂取の有無、バイタルチェック記録日中、夜間の状況を記録、入居者に変化が見られた場合には申し送り帳に詳しく記入している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	警察、消防は必要に応じて、民生委員、包括支援センターの方とは運営推進委員会で意見交換する機会を設けている。		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	年に何回かボランティアの方の踊りや大正琴の演奏など来て頂いている。訪問美容サービスも利用している。		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	運営推進委員会などで情報交換し協力関係を築いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	総合病院と地域の医師との連携が確立されている。往診をお願いできるドクターもあり気軽に相談でき適切な医療が受けられる。		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	地域の医師ともより良い関係を築きながら、認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している必要があれば他病院への紹介も可能な状態である。		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	看護職としてはいないが職員で看護師の経験者がいるため相談可能である。		看護職の人がいれば常に安心である。
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	入院した場合は管理者が医師や家族と話をし、状況などを把握している。退院に向けての対応も相談している。		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化や週末期となった方にとって何が一番良いのか医師、家族を交えて話し合い方針を決めている。		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	重度化や週末期となっても少しでも人間らしい生活が出来るようホームでも出来ることを出来る限り支援している。今後も支援出来るように検討や準備を行っていく方針である。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	管理者が家族と相談の上適当と思われる転居先の紹介も行っている。住み替えによるダメージを防ぐことにも努めている。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	常に一人ひとりを人生の先輩、尊厳を持って接し、さりげない介助、声かけに心がけている。記録、個人情報は外部に漏らさないよう常に気をつけている。		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	一人ひとりに合わせた対応に努めているなるべく自己決定出来るよう支援している。		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	「待たせない」対応に努めている。職員数の少ない時間帯でも業務の手を止めて対応するよう心がけている。		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	家族対応で馴染みの美容院へ行かれる入居者の方も見える。地域の美容院」の訪問を利用してカットの支援も行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮をむいてもらったり簡単なものは切ってもらったりして食事作りに参加出来る様支援している片付けも食器拭き、テーブル拭き等その人の力に応じて参加して頂いている。		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族の方々から頂いた本人用のおやつ等は職員が管理しながらひとり一人の状況に合わせて日常的に楽しめるように支援している。		
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おやつ前食事等必ず排泄の声かけ、誘導をし失敗の無いように支援している。夜間も一人ひとりの排泄パターンを把握し対応している。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴可能な支援をしている。一人ひとりの気分やタイミングに合わせて入浴時間や入浴日を決め楽しんで入浴してもらえるように支援している。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の睡眠パターンを把握ししており日中起きていられるように散歩に出たりレクリエーションを行ったりして夜安眠できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	朝の掃除のお手伝い、洗濯物干し、洗濯物たたみ等昔からやり慣れている仕事を頼みやってもらっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>会社の方針、入居者の状態により事務所で管理している。買い物等職員と一緒に出掛けた時には入居者が支払うように配慮している。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候の良い日は毎日散歩に出掛けている。日光浴をしたり畑の草取りをしたり戸外の空気にも触れられるよう日常的に支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>近場への花見兼食事や地域のイベントへの参加、家族が見えたときには家族との食事等気分転換と共に出掛けられる機会を作れるよう支援している。</p>		<p>年に数回しか出掛けられなかったが、地域のレンタカーが借りられることで、もう少し多く色々な所へ外出して行きたいと思う。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者の状態により自ら電話をする事はないが、家族からの電話は取り次ぎ話して頂いている。手紙も返事など書けるよう支援し投函している。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>いつでも笑顔で暖かく迎えられるよう配慮している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアを理解し、実践している。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外に出て行こうとする利用者さんを止めるのではなく、さりげなく後について行くようにし鍵をかけないケアにとりくんでいる。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	業務をしながらでも常に利用者さんに目をくばり各利用者さんの様子を把握し緊急時にはすぐに対応できるように配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に応じて注意の必要な方は一時預かり、要求があった時には危険のないように使用して頂いている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態から予測される危険を検討し事故を未然に防ぐ為の工夫をしている。日々のヒヤリハットを記録し職員の共有認識を図っている。		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全ての職員が応急手当の勉強会を通し体験習得出来る様にしている。夜勤時の緊急時対応についてはマニュアルを整備し全ての職員が対応出来る様にしている。		繰り返しマニュアル等、目を通しておく事が大切だと思われる。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回利用者と共に非難訓練を行っている。消防署の協力も得て消火器の使い方などの訓練も行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族に説明し協力をえている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	毎日バイタルチェックを行っている体調や表情の変化も見逃さないよう早期発見に取り組んでいる。気づいたことがあればすぐに管理者に報告し対応にあたっている。		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	職員は入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量を承知しており医師の指示通りに服用出来る様支援している。服薬時は本人に手渡しきちんと服用できるか確認している。		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	繊維質の多い食材や乳製品を取り入れている。散歩など身体を動かす機会を適度に設けて自然排便出来る様取り組んでいる。排便チェックも行っている。		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	義歯の方は毎晩はずしてもらい、洗浄、週に1度ポリドントの消毒を行っている。感染予防の食前のうがいも口腔内の清潔保持に役立っている。		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	水分補給の少ない方には常に声かけし、一定量は飲んで頂くように支援している。主食、副食とも平均して食べられるように声かけ援助している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎日手すり等の拭き消毒に取り組んでいる。インフルエンザについては職員も含め、利用者さんもお家族同意の上、毎年予防接種の実施を行っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前の手洗いの徹底。夕食後はまな板、布きんのハイター消毒。残り物、賞味期限切れの食材の処分など徹底して行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気 of 玄関になるように花を生けたりベンチや鉢植えなどをおいている。利用者さんの工作作品も飾り、来館された方に見て頂いている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの飾りつけ等、季節にあったものを利用者さんと一緒に作ったり飾ったりして季節感を味わって頂いている。畳やコタツもあり自由な姿勢で過ごせるよう支援している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になったり、気の合った利用者同士で過ごせる場所が確保されている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具や、生活用品、装飾品等が持ち込まれ安心して過ごせる場所となっている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を適宜行っている。冷暖房は冷やし過ぎ、暖めすぎがないように配慮している。トイレ等は換気扇と消臭剤で臭いがないように工夫している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	状況に合わせて環境整備に努めている。状態が変わったりした場合は職員一同で話し合い本人の不安を取り除くよう努力している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑作りをしたり、玄関先にベンチをおいて日向ぼっこが出来そうな工夫をしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<div>ほぼ全ての利用者の</div> <div>利用者の 2 / 3 くらいの</div> <div>利用者の 1 / 3 くらいの</div> <div>ほとんど掴んでいない</div>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<div>毎日ある</div> <div>数日に 1 回程度ある</div> <div>たまにある</div> <div>ほとんどない</div>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<div>ほぼ全ての利用者が</div> <div>利用者の 2 / 3 くらいが</div> <div>利用者の 1 / 3 くらいが</div> <div>ほとんどいない</div>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<div>ほぼ全ての利用者が</div> <div>利用者の 2 / 3 くらいが</div> <div>利用者の 1 / 3 くらいが</div> <div>ほとんどいない</div>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<div>ほぼ全ての利用者が</div> <div>利用者の 2 / 3 くらいが</div> <div>利用者の 1 / 3 くらいが</div> <div>ほとんどいない</div>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<div>ほぼ全ての利用者が</div> <div>利用者の 2 / 3 くらいが</div> <div>利用者の 1 / 3 くらいが</div> <div>ほとんどいない</div>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<div>ほぼ全ての利用者が</div> <div>利用者の 2 / 3 くらいが</div> <div>利用者の 1 / 3 くらいが</div> <div>ほとんどいない</div>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<div>ほぼ全ての家族と</div> <div>家族の 2 / 3 くらいと</div> <div>家族の 1 / 3 くらいと</div> <div>ほとんどできていない</div>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<div>ほぼ毎日のように</div> <div>数日に1回程度</div> <div>たまに</div> <div>ほとんどない</div>

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の 2 / 3 くらいが 職員の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の 2 / 3 くらいが 家族等の 1 / 3 くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

常に利用者さん中心に生活が出来る様に支援している。 職員のチームワークがよく、お互いに助け合い、いつも笑顔で明るい雰囲気の中で介護させて頂いています。